

◆2025年8月の新刊

日本キリスト教団出版局

イエスの死の意味

旧約の犠牲祭儀から読み直す



2025年
8月20日
刊行予定

C.A.エバハルト 著

ヒューストン大学比較文化研究学部教授、同学部の宗教研究科長。儀礼、和解および

贖いの概念、聖書本文および写本、第二神殿期ユダヤ教文献および文化、聖書解釈史、クムラン文書断片／死海文書、聖書考古学および地形学、初期キリスト教文書、宗教間対話などに関する研究多数。

かわのかつや

河野克也 訳

1965年愛媛県生まれ。東京神学大学特任准教授。日本ホーリネス教団中山キリスト教会牧師。国際基督教大学修了、東京聖書学院修了、神戸ルーテル神学校修了(M. Div.)、合同メノナイト聖書神学校修了(M.A.)、デューク大学神学部修了(Th. M.)、サザン・メソジスト大学大学院博士課程満期退学。新約聖書学専攻。

イエスの「贖い」を理解するカギは、 旧約の犠牲祭儀だ！

教会ではイエスの死は「贖い」であったと語られる。では、神は自らの子を犠牲として自分に献げさせたのだろうか？「贖い」に関する疑問を、旧約の犠牲祭儀を手がかりに鮮やかに解きあかす快作。本書を読まずに「贖い」は語れない！

A5判・並製・160頁・定価3,300円（本体3,000円＋税）
ISBN978-4-8184-1203-3 C3016